

入試科目つき系統別判定基準一覧（国公立大、センター利用私立大・短大共通）

1 大学・学部・学科（方式）／センター目標得点／帯グラフ

一般入試の最小募集単位を「センター試験目標得点」のB判定値が高い順に掲載。帯グラフを目安として表示。
 A=合格可能性80%以上 B=合格可能性60%以上 C=合格可能性40%以上。



2 二次判定SS

各募集単位の個別学力検査の教科・配点で集計した判定値を掲載。A～Cの基準は同上。列の再表示により帯グラフを見ることが可能。※センター試験のみの場合や個別学力検査で教科試験以外のみを課す場合は空欄。

3 募集人員

各募集単位の募集人員。 —：非公表

4 志望者数

データネットの志望者数（国公立大：第一、私短大：合算）、並びに前年度を100とした時の比率を表示。
 （前年比欄の記号）79%以下(▼) 80%以上～89%以下(↓) 110%以上～119%以下(↑) 120%以上(△)

5 推定区分

センター試験、個別学力検査の「科目および配点」のうち、どれか1つでも「推定」登録がある場合は「推」と表示。

6 満点

センター試験、個別学力検査の満点を表示。配点が段階評価などの点数化されない場合や、最終可否判定に利用されない場合（基準点や段階選抜など）は空欄。

7 教科数

センター試験、個別学力検査に必要な教科数。センター試験のみの場合の個別学力検査の教科数欄は「空欄」。教科外（小論文、面接等）の試験のみを課す場合の教科数は「0」。

8 センター試験教科・科目／個別学力検査教科・科目

※英語の代替：英語の代わりにその他外国語が選択できる場合は「可」表示。

■センター試験の理科受験パターン

●	必須教科（科目）
数字	必須教科で数字の科目数の受験が必要
○	選択教科（科目）
丸付数字	選択教科で○中の科目数の受験が必要
△	条件つきで選択可能

A	基礎4科目から2科目選択
B	専門4科目から1科目選択
C	基礎4科目から2科目及び専門4科目から1科目選択
D	専門4科目から2科目選択
※	上記A～D以外の受験パターンの場合 （詳細は大学資料でご確認ください）

■個別理科の必須／選択の表記

基	基礎科目のみ	全	基礎科目と専門科目	※	それ以外の場合
専	専門科目のみ	基専	基礎科目または専門科目		

9 合格者平均偏差値

各募集単位の2015年度入試における合格者の、2014年度記述模試の平均偏差値を表示。

10 ドッキングでB判定をとるために個別試験に必要な二次集計偏差値

センター試験でA～Cの各判定をとった人が、ドッキング判定でB判定（合格可能性60～79%）をとるために、個別学力検査で必要な2次集計偏差値（第2回ベネッセ・駿台記述模試より算出）を表示。※センター試験のみの場合や個別学力検査で教科試験以外のみを課す場合は空欄、B判定まで挽回が不可能な場合は「—」を表示。

11 日程情報（※私立大、短大のみ掲載）

出願締切日	郵送	郵送の出願締切日（日付の右に当日消印有効(消)・当日大学必着(必)の表示あり）
	WEB	WEBの出願締切日
一次試験日	複数の試験日がある場合は最も早い日付	
合格発表日	複数の合格発表方法がある場合は最も早い日付	

※WEBの場合、出願手続き後に出願書類（調査書等）の郵送が必要となるため、必ず大学発行の最新の学生募集要項等で確認すること